

はなまき市議会だより

花の風

おくじ

2 3月定例会概要・議案審議質疑

4 一般質問

10 予算特別委員会

13 議会報告会

14 常任委員会等の活動報告

15 陳情審査

16 ちよつと一言、議会の動きほか

第87号

令和8年5月1日

議案審議

可決

花巻市子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の一部を改正する条例



審議の様子は
こちら

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、保育所等を利用していない乳児を一定時間預かる「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」を実施するため市立保育所における利用料を1時間300円の範囲内で徴収することを定めるもの。

質疑

●質問…事業を実施する施設数と利用予定人数に変更はあるのか。また事故が発生した場合の責任はどこにあるのか。

答弁…市内5園で実施予定に変更はなく、利用見込みは17人程度としている。事故防止や事故発生時の対応は国のガイドラインに基づき事業者が行い、市は施設の認可や運営状況の確認など指導監督を行う。

市内の実施施設
湯口保育園（上根子字中野）
かがりの 藤乃こども園（中根子字明堂）
ピュア・チャイルド園（若葉町二丁目）
ぎんどう保育園（石神町）
ひよこ保育園（下似内）

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 1 1	花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案 1 3	花巻市子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の一部を改正する条例
議案 1 4	花巻市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

会派名	明和会					はなまき 市民クラブ		緑の風			社民クラブ		日本共産党花巻 市議会議員団		会派に 所属しない		審議結果								
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三		若柳良明	阿部一男	久保田影孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

【表紙写真について】

タイトル 「宿場まちに春を呼ぶチンドン屋さん」
メッセージ 恒例の大迫町の雛まつりが今年も。
まつりの先陣を切るのは地元の懐かしのチンドン屋さん。
各商店店頭にスラリと並ぶお雛さまが壮観です。

3月定例会 提出された35議案を可決

令和8年第1回花巻市議会定例会は2月25日開会、3月18日までの22日間の日程で開かれました。
初日の本会議では、市長施政方針および教育長演説が行われ、提出議案の説明がなされたほか、令和8年度花巻市予算は、議長を除く全議員で特別委員会を設置し、審査することとしました。
3月2日から3月5日まで是一般質問に17人が登壇し、市政課題について質問しました。
3月6日には議案審議を行い、花巻市犯罪被害者等支援条例などの議案を含む全議案を原案のとおり可決しました。
3月11日から13日まで予算特別委員会が開かれ、令和8年度花巻市一般会計予算および各特別会計予算等について原案のとおり可決しました。
最終日には、花巻市副市長の選任、花巻市教育委員会委員の任命、人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについてなど7議案が追加提案され、原案のとおり可決しました。また、花巻市議会会議規則の一部を改正する規則を含めた2議案が発議され、全会一致で可決しました。
また、総務常任委員会が審査した陳情を継続審査、文教福祉常任委員会が審査した陳情を不採択としました。
主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

可決

令和7年度花巻市一般会計補正予算（第17号）

スクールバス運行业務委託について、入札結果により不用額が生じたことなどから減額補正を行うもの。3億1116万6千円を減額し、歳入歳出それぞれ645億5552万円とするもの。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおり。

◆小学校教育振興費の管理運営費のうちスクールバス等運行业務委託料を3500万円減額
中学校教育振興費の管理運営費のうちスクールバス等運行业務委託料を400万円減額

質疑

●質問…スクールバス運行业務委託では、予定価格約1180万円に対し、市外特定事業者が独自料金を適用し約550万円で落札している。同事業者は市内スクールバス事業の大半を受注しており、市内事業者が参入しにくい状況になっているのではないかと。

答弁…独自料金は国の審査を受け認可された運賃制度であり、条件を満たす事業者が適用できる。入札は制度に基づき適正に実施しており、現時点で制度上の問題はないと認識している。

可決

花巻市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者やその家族・遺族の相談支援や生活再建支援を総合的に進め、犯罪被害者等の権利・利益の保護と生活の安定を図るため、市の責務や相談体制、経済的支援などを定める条例を制定するもの。

質疑

●質問…犯罪被害者等の定義では家族や遺族の住所要件が明確でない。被害者本人が市民でなくても遺族が市民であれば支援対象となるのか。

答弁…経済的支援は被害時に本人が市民であることを要件とし、死亡した場合は遺族が申請できる。相談支援は住所要件を設けず市民以外からの相談にも対応する。また海外での犯罪被害についても、被害時に本人が市民であるかを基準として判断する。

一般質問

Q 市長に就任した今だからこそ、強いリーダーシップを発揮し、人口減少に果敢に挑む姿勢を市民に示すことが重要である。その覚悟を改めて伺う。

A 人口減少対策の取り組みは、長期的な視点を持ち、行政だけではなく市民や企業、地域もこの課題を自分事として捉え、官民一体となつて有機的に展開していくことが極めて重要。その実現に向け、これまで県職員として培ってきた知識や人脈を十分に生かし、この難題に全力で取り組んでいく決意である。

■市長施政方針について



たか とう みのる 議員
佐藤 峰樹 議員

■悪臭問題



Q 悪臭がもたらす、矢沢地区義務教育学校への影響と、市長が掲げる改善に向けた具体策について伺う。

A 児童生徒の学校生活に多大な影響を及ぼしていることを認識している。また、安心して学べる環境が最優先であり、悪臭により教育環境が損なわれることがあってはならない。今後、県の環境生活部及び農林水産部、排出事業者等を含めた関係機関の協議の場を設け、必要な対策を講じるよう組合に申し入れ、県に対して強く要望していく。



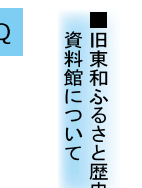
うちだて かつお 議員
内館 桂 議員



Q 旧東和ふるさと歴史資料館について

A 現時点で跡地利用について具体的な方策が定まっていらない現状から、解体の具体的実施状況を示すことはできない。しかし、解体を判断するための事前調査を関係部署と連携し進めてまいりたい。

■人口減少が続くなか、コミュニティ会議員の確保が極めて難しくなっている現状の打開を市はどう考えているか。



いとう みのる 議員
伊藤 盛幸 議員

■コミュニティ会議について



いとう みのる 議員
伊藤 盛幸 議員

Q 市民参画について

A まちづくり市民アンケート調査の項目「市政に意見を述べる機会が確保されている」と思う市民の割合を見ると、条例制定前が28・5%、制定後は28・1%で大きな変化はない。市民に意見を述べる機会に関する手続等を具体的に定めた当該条例の制定によって、市民参画の認識や理解が高められたかと言えば、そうとは言えないもの

■計画等の企画立案段階から、必要に応じて市民参画を図るべきと思うが考えを伺う。



いとう みのる 議員
伊藤 盛幸 議員

Q 計画等の企画立案段階から、必要に応じて市民参画を図るべきと思うが考えを伺う。

A 参画と協働のまちづくりを進めていくためには、市民が市政に参画する機会を十分に保障する必要がある中で、これらの規定や考え方を踏まえて適切な段階から参画いただければという配慮したい。

令和8年第1回臨時会

令和8年第1回臨時会は1月15日に開かれ、議案はすべて原案のとおり可決、承認しました。

審議した議案	内 容	審議結果
令和7年度花巻市一般会計補正予算(第11号)の専決処分に関し承認を求めることについて	イーハトーブ花巻応援寄付金の増額見込みに伴う事業費の追加及び市道の除雪業務委託料の追加に係る歳入歳出予算の補正 *補正額: 6億5000万円増額 *補正後予算額: 632億9849万9千円	承認
花巻市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	危険鳥獣の捕獲等をするための作業その他の作業に従事した職員に対して特殊勤務手当を支給するため、危険鳥獣捕獲等手当を定めようとするもの	可決
令和7年度花巻市一般会計補正予算(第12号)	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した物価高騰への対応のほか、国の補正予算への対応等に係る歳入歳出予算の補正、繰越明許費の補正及び地方債の補正 *補正額: 11億6090万4千円増額 *補正後予算額: 644億5940万3千円	可決

一般質問

3月定例会では17人の議員が登壇し、市政全般について質問を行いました。

令和8年第1回花巻市議会定例会 一般質問一覧(登壇順)

佐藤 峰樹 議員 (明 和 会)	①市長施政方針について ②岩手県化製油脂協同組合について ③市庁舎について
内館 桂 議員 (はなまき市民クラブ)	①市庁舎の建設について ②旧東和ふるさと歴史資料館について ③コミュニティ会議について
伊藤 盛幸 議員 (緑 の 風)	①市民参画について ②振興センターの使用について
照井 省三 議員 (社民クラブ)	①市長施政方針について ②悪臭問題について ③いわて花巻空港を特定利用空港の対象とすることについて
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①下水道事業について
及川 恒雄 議員 (明 和 会)	①市長施政方針について ②新興製作所跡地の建物解体物等の処理について ③ふるさと納税(イーハトーブ花巻応援寄付金)について ④コミュニティ会議について
羽山るみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	①新花巻図書館について ②花巻駅前周辺整備について ③早池峰地域の活性化について
鹿討 康弘 議員 (緑 の 風)	①岩手県化製油脂協同組合に係る悪臭問題について ②総合花巻病院の経営改善について ③入札制度について ④国・県との連携体制について
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	①市長施政方針について ②農業問題について ③障がい者福祉の充実について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①地元企業優先の公共工事の在り方について
藤根 清 議員 (明 和 会)	①スポーツ振興について ②農業振興について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①市長施政方針について
小森田都也 議員 (緑 の 風)	①多世代交流型施設について ②石鳥谷地域の小学校統合に向けた検討状況と今後の進め方について ③自転車ヘルメットの着用促進と交通安全対策について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①私立高校の授業料実質無償化の影響について ②小学校給食費無償化について
似内 一弘 議員 (緑 の 風)	①市政課題について ②財政運営について ③地域自治について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①健康増進の取組について ②スポーツ振興について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①聞き取り困難症(LiD)及び聴覚情報処理障害(APD)について ②女性農業者について ③市長施政方針について



こじま めいこ 議員
照井 明子

■地元企業優先の
公共工事

雇用の維持や税収確保、地域経済循環に加え災害時の即時体制の確保につながる地元企業への公共工事優先発注の市長の所見を伺う。

Q

新図書館建設は、約40億円の多額の事業費が投じられる。建設工事は地元企業優先の発注とすべきと捉えるが、所見を伺う。

Q

公共工事の発注は、条件付き一般競争入札を基本とし、入札参加資格を市営建設工事請負資格者名簿に登録されたもので、市内に本店を有するものと規定している。ただし、対象工事を適正に施工するのが困難な場合、当該者以外の指名もある。地域経済活性化や市場産業の育成を目的に市内業者を優先する発注方針は継続する。

A

新花園図書館の建設工事に係る地元企業の発注について条件付き一般競争入札を基本としている。新花園図書館の工事については、設計段階から施工や維持管理が容易な構造形状とし、特殊な工法や材料を使用しないように努め、市内業者が適切に一般競争入札に参加できるよう配慮する。

■スポーツ振興に
ついて

新県営体育館の建設誘致活動に取り組む考えについて伺う。

Q

県側は老朽化した現施設を他施設と集約し、高機能な体育館整備を検討するとした。また岩手経済同友会からは県と盛岡市に對し建設に向けた提言がなされた。本市としてはスポーツ振興や交流人口増加の寄与度に応じた財政負担の見直しなどを含め誘致活動がどのような形で進めるのかを検討する。

A

農地の集積および集約による作業効率向上が収益確保につながるものと考え。デジタル技術を活用したマーケティングについて伺う。

Q

農業の担い手の減少や高齢化が進む中において、生産性の向上や経営の安定化につながる農地の集積や地理的な集約の重要性はこれまで以上に高まっている。そこで本市においても現在マッチングアプリを活用した実証実験を行っており、効果が期待されることではあるが、条件が異なる部分での有効性などを見極めるため更なる検証が必要である。

A

歴史的にも中心に城跡があり、そこを核として街が広がった。中心市街地での公共施設の在り方が中心市街地の活性化にも繋がっている。民間からの様々の投資やチャレンジが行われていく。公共施設の再配置について検討していくことが花巻全体の活力に繋がっていくと考える。その議論を市民の皆さんと進めていきたい。

A



ほんじん けんいち 議員
本館 憲一

■中心市街地活性化と
新庁舎整備の計画に
ついて

新庁舎整備計画において、中心市街地活性化などのまちづくりの議論と併せて市民の意見を聞いて進めるとのこと。その本意を伺う。

Q

広い大地を維持し守っていくためにも、農村部の人口減少を阻止しなければならぬ。農村部の活性化への取り組みを伺う。

Q

A

農村部に対する施策も併せて取り組んでいる。各種インフラの整備自主的地域づくり活動への支援、中山間地域への直接支払交付金制度など、地域に着目した支援を進めていく。山間集落の景観、棚田や傾斜地住宅、古い民家などで花巻の景観をつくっている。農村部などへの支援や手当てについても引き続き考えていきたい。



こもり なるみや 議員
小森田 郁也

■石鳥谷地域の小学校
統合について

石鳥谷地域における小学校統合に向けた検討会でのこれまでの議論の経過と、合意形成に向けた今後の進め方について伺う。

Q

A

P・T・A役員等の検討会では、設置場所は中学校敷地内を望む意見が多く、学校形態は6・3制や小中一貫校、義務教育学校等の様々な意見が出された。今後は各地域で4小学校統合の了承を得た後、保護者や有識者等による検討組織で学校形態等の決定に向け議論を進める。開校までの期間は、今後の基本構想の策定から工事まで約5



年程度を見込む。

■多世代交流施設の
整備について

市長の掲げる「多世代交流施設」の想定機能や検討状況について伺う。

Q

A

お年寄りや若者などが気軽に立ち寄り、子どもの見守りや互いの活力となる施設を想定している。そのためにどのような機能が必要か、カフェやホール併設等を例に市民参加で議論し、検討していく。またPFI（※）等民間活力の活用も検討する。立地は交通の便や財源等を総合的に勘案し、既存施設の改修や新設も含め検討していく。



まけわ しげあき 議員
櫻井 肇

■私立高校の授業料実質
無償化の影響について

公立高校との学費の差の縮小による公立高校の志望者数や統廃合への影響について見解を伺う。

Q

A

花巻東高等学校と専修大学北上高等学校はすでに定員を確保していること、当面は定数の増員を予定していないことを踏まえると、私立高校への進学が直ちに県立高校の志望者数を大幅に減少させ、統廃合が進行することには考えにくい。しかし私立高校授業料無償化の影響による県立高校への影響が強まる可能性もある。

■小学校学校給食
無償化について

4月からの小学校学校給食費無償化にあたって、国の基準額を超えて場合、市の負担によって完全無償化とする考えはないか。

Q

A

令和8年度の学校給食の食材料費について、物価高騰前の令和4年度と比較して、児童ひとり当たり1320円を加算した5745円、年間6万3195円と試算。国の支援額は1か月当たり545円、年間6万3195円と試算しており、国の支援額との対比では、1か月当たり545円、年間59950円不足。不足分2200万円を市が負担する。



いぬい かずひろ 議員
似内 一弘

■市政課題について

市政の最優先課題と市長の行政経験を活かして前に進めたいと考える政策について伺う。

Q

A

人口減少を最重要課題とし、総合計画に掲げる人口減少対策を引き継ぎ、小学校給食費無償化等の子育て支援や担い手確保策などを強化していく。また、これまでの行政経験を活かし「すべての世代が安心して暮らせる花巻」を目指した医療体制の拡充や、スポーツ文化を通じた交流人口の拡大、まちづくりを強力に推進していく。

■財政運営について

市長の財政認識とこれからの財政運営の考え方について伺う。

Q

A

市債削減と基金積み増しにより現在の財政状況は健全な状態であると認識している。今後は物価高やインフラ整備等により厳しい財政状況が見込まれるが、徹底した経費削減や自主財源の確保、公共施設の最適化を進めるとともに、中長期的な視点で将来負担に留意し、柔軟かつ持続可能な財政運営とまちづくりを両立させていく。



※PFI：民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

予算特別委員会

移住・定住促進等 対策事業

1585万1千円

Q 移住・定住において東和作戦会議という団体が大きな成果を上げている。成果が伸び悩む他の各総合支所（大迫・石鳥谷）へも、地域おこし協力隊等を活用して移住コーディネーター・空き家コーディネーターを配置する考えはないか。

A 東和地域の活動を横展開しようと、令和7年度、地域おこし協力隊で移住コーディネーターを募集したが応募がなかった。今後は再度協力隊を募集するのか、地元の人材に役割を担っていただくのか、支所等と連携して進め方を検討していく。

自主防災組織支援 事業

202万8千円

Q 防災士会が設立されたが、その詳細を教えてください。また、防災士資格取得および活動支援の予算が組まれたが、イベント開催等に支援する考えがあるのか伺う。

A 令和7年度結成された防災士会は会員98名でスタートし、この1年間は収支予算を定めずに活動してきた。令和8年度は会費を集めて事業を進めていくことになっている。また、イベント開催等がある場合には市からの支援も考えている。

障がい者地域生活 支援事業

1億2596万4千円

Q 障がい者地域生活のアンケートでは理解が進んでいると回答した市民は令和6年が39%目標に対して実績は33.3%であり市民は理解していないと見ているのか。

A 市の目標値は少しずつ上昇しているが、実績値として表れていない。市は広報やホームページで周知に努めている。「障がいのある人もない人も共に学び共に生きるまちづくり条例」は県では平成28年に条例制定しており県内では県のみである。花巻市は身体障がい者団体からの請願が議会で採択されたことを受け止めている。

地方譲与税

9億1710万8千円

Q 地方の財源とされていたガソリンの暫定税率廃止に伴い、地方の収入が心配になるが、今回の予算に反映されているのか。

A 予算書の譲与税について、3000万円の減となっているが、国の方で地方特例交付金として全額措置されるため、基本的に市への影響はないことになる。

空港利用促進事業

329万8千円

Q 花巻空港は岩手県の全体を担っている空港であるため、さらに、空港の拡充をするために羽田便の要望が必要と思うが、どのように考えているか伺う。

A 数年に一度、航空会社と空港関係者が一緒になって働きかける誘致のコンテストがあり、次のコンテストの時期は決まっていなが、コンテストがある際はチャレンジし、要望していきたい。

高齢者介護予防対策 事業（湯のまちホッ ト交流事業）

3887万7千円

Q 本事業はコロナ禍以降に個人利用となったことで、利用件数や事業費が大きく増加している。市民から好評な事業だが、将来的な事業の持続可能性の観点から、市はこの現状と事業効果をどう評価しているか。

A 高齢者の外出や交流を促す一定の効果はあると捉えているが、介護予防につながっているという明確な証拠（エビデンス）を示すのが難しく、事業費が増大している点は課題である。団体利用への回帰や利用回数制限なども検討したが、令和7年度実施した交付枚数削減（12枚→10枚）の効果検証や温泉事業者の意見を伺う必要があるため、令和7年度中の制度見直しは見送り、令和8年度において引き続き検討していく。



さききせいいち 佐々木精市 議員



健康増進の取組について

Q

市民の健康データの分析および地域ごとの適正活用について伺う。

A

当市で行っている特定健康診査および後期高齢者検査、健康診査の結果や問診票、国民健康保険被保険者、その外来入院医療費等、それぞれのデータを地域別、4地域で分析し各地域の健康課題を把握している。地域に出向く形で各総合支所健康づくり窓口で配属されている担当保健師と共に、地域に合わせた効果的な事業展開を検討していく。

スポーツ振興について

Q

障がい者のスポーツ参加を促進するための取り組みについて伺う。

A

花巻市スポーツ推進計画では、障がいの有無にかかわらず、市民がスポーツに参加できる環境づくりを重要な施策と位置づけている。障がい者のスポーツ参加率はまだ低い状況にあるが、広域大会やイベント情報を発信するなど、参加機会の創出に努めると共に、各団体と連携し障がい者スポーツが身近にできる環境づくりを進めていく。

福祉について

Q

聞き取り困難症（LID）および聴覚情報処理障害（APD）について、市民への理解促進に向けた取り組みについて伺う。

A

国では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構における障害者対策総合研究開発事業により、診断と支援の手引きを発行するなど取り組みがされている。市としては国の動向に注視しながら情報収集を進め、関係機関と連携し、情報提供の在り方について検討する。市民に正しい理解を促し合理的配慮が行われる環境づくりに努める。



すがわら 菅原ゆかり 議員



女性農業者について

Q

「国際女性農業従事者年」の本年、女性農業者の課題の実態把握の実施について伺う。

A

アンケート調査の実施など課題等の実態把握は行っていないが、市が活動を支援している「農花アグリヴィーノ」や「花巻地方生活研究グループ連絡協議会」、「花巻農村青年クラブ」また、農業委員や土地改良区理事の女性の方々からもお話を伺うこともある。今後、農林水産省が実施している各種調査結果もあわせて今後の各種施策の参考にする。

令和8年度 予算審査

3月13日



3月12日



3月11日



審議の様子はこちら

予算特別委員会は、3月11日から3月13日までの3日間にわたり、令和8年度当初予算審査を行いました。各事業の担当課より予算の説明を受け、質疑を行い、最終日の本会議にて予算を可決しました。

市議会が注目した予算は次のとおりです。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 24	令和8年度花巻市国民健康保険特別会計予算
議案 25	令和8年度花巻市後期高齢者医療特別会計予算

会派名	明和会						はなまき 市民クラブ		緑の風			市民クラブ		日本共産党花巻 市議会議員団		会派に 所属しない	審議結果								
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根 清	小原保信	横田 忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	羽山みづ子	佐藤 現	内館 桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三		若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井 肇	佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

議会報告会「議員と話そう」にご参加いただきありがとうございました

2月12日(木)、13日(金)、16日(月)、17日(火)の4日間、市内13会場で議会報告会「議員と話そう」を開催しました。寒い中、述べ147名の市民の皆さまに足を運んでいただき、ワークショップによる意見交換を行いました。前回に引き続き、共通テーマを「住み続けたいと思える花巻にするには」として、市民の皆さまから様々な課題や貴重なご意見をたくさんいただくことができた大変有意義な会とすることができました。



参加いただいた市民の皆さまからも「議員と気軽に自由に話し合うことができてよかった」「若者も参加できる会にしてほしい」「議員ならではの話が聞けてよかった」「今回のように、議員各位と市民が直接話し合える機会を多くもっていただきたい」等、さまざまなお声をいただきました。いただいたご意見を、今後の議会活動・議員活動に生かしていけるよう努めてまいります。



★市議会ホームページでは全会場のワークショップの様子やいただいたご意見を掲載しています。ぜひご覧ください。

予算特別委員会

スマートアグリ推進事業

1658万6千円

Q 成果指標 ICT ロボット技術研修会の令和7年度参加者見込みが目標100人に対し0人となっているのはなぜか。

A ソフト開発に遅れが生じ、農業従事者を集めての研修会は実施しなかった。令和8年度は、関係機関と協議し研修会を実施していきたい。

産後ケア等事業

5008万8千円

Q 宿泊型サービスの利用の見込み数と自己負担について伺う。

A 令和8年6月開始の宿泊型サービス利用者を56組と想定し、食事代等は現在実施しているデイスサービス型同様自己負担していただく。現在、デイスサービス型では1日7時間のサービスで1食とおやつ代で1000円の負担となっているが、宿泊型においては1000円ではできないが、利用者のお声を聴きながら検討していく。

小学校施設維持事業

1億1718万6千円

中学校施設維持事業

2億2631万7千円

Q 矢沢地区に計画されている義務教育学校の体育館施設において悪臭対策が必要と考えるが、見解を伺う。

A 体育館と校舎についてはエアコン設置の予定であり、児童・生徒が常時いる普通教室には脱臭装置も設置することで進めている。

商店街利便性向上事業

2175万5千円

Q 花巻上町アーケードの修繕進捗状況を伺う。

A 所有者の上町商店街振興組合が点検調査を行った。コンサルタントによればアーケードの劣化度調査では主な部分で問題はなかった。ただし錆による劣化破損が確認された。耐震診断では新築当時は基準が確保されていたが、新たな診断基準では大規模地震では安全性を満たさないとのこと。この結果、コンサルタントは適正な維持管理を行えば、耐震補強する必要はないとのこと。商店街では解体または維持か詳細に検討するとしている。

学校給食費負担軽減事業

4億5662万6千円

Q 小学校学校給食完全無償化は高く評価する。義務教育ということで考えれば、中学校においても完全無償化というセットで考えるべき。国においては、中学校の学校給食完全無償化について議論が進んでいるか。

A 国の方での検討については現時点で情報は来っていない。国の動向を踏まえて今後対応していく。

消防団員育成強化事業

1403万2千円

Q 消防団員の確保対策で、充足率が83.4%の見込みとあるが、組織の再編成や地域を巻き込んだ勧誘活動が必要と思うが、新年度の考えはあるのか。

A 花巻市ホームページ、えふえむ花巻等をはじめ、新団員勧誘の情報発信をしている。地域の理解と協力を得ながら、再編等を含め、団員の充足に努めていきたい。

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

- ◆2月6日（金）
 - * 所管事務調査「市内自治組織の状況及び地域への依頼事項について」
 - ◆2月18日（水）
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - ◆3月9日（月）
 - * 第1号陳情「岩手県知事に対し化製場悪臭問題の改善措置を求める意見書の提出を求める陳情」
- ▽審査結果…継続審査

文教福祉常任委員会

- ◆2月18日（水）
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - ◆3月9日（月）
 - * 第2号陳情「インフルエンザワクチン（フルミスト）助成事業における水平伝播の評価データ開示を求める陳情」
- ▽審査結果…不採択
- ◆4月17日（金）
 - * 協議「今後の活動方針について」

議会改革推進会議

- ◆3月16日（月）
 - * 協議「議員間討議について」
- ◆4月27日（月）
 - * 議員間討議に係る研修会の開催について
 - * 花巻市議会基本条例に基づく活動の検証について

産業建設常任委員会

- ◆2月10日（火）
 - * 協議「政策提言について」
- ◆2月18日（水）
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
- ◆3月10日（火）
 - * 協議「政策提言について」

花巻市議会議長から花巻市長へ空き家等対策に関する政策提言を行いました

3月18日藤原伸市議会議長、似内一弘産業建設常任委員会委員長および本館憲一総務常任委員会委員長から小原勝市長に「空き家等対策に関する政策提言書」を提出しました。

産業建設常任委員会では、令和6年9月の委員会改選以降、空き家等対策について全国空き家アドバイザー協議会岩手県花巻支部等と意見交換するなど、調査・研究、行政視察のほか、委員会でワークショップを行い、空き家等対策の制度化など検討すべき具体的施策を取りまとめました。

その結果を政策提言書としてまとめ、本市の施策に反映させていただくよう提言しました。

※提言書の内容につきましては、市議会ホームページをご覧ください。



（左から）本館憲一総務常任委員会委員長、似内一弘産業建設常任委員会委員長、藤原伸議長、小原勝市長

陳情審査

総務常任委員会が第1号陳情「岩手県知事に対し化製場悪臭問題の改善措置を求める意見書の提出を求める陳情」、文教福祉常任委員会が第2号陳情「インフルエンザワクチン（フルミスト）助成事業における水平伝播の評価データ開示を求める陳情」の審査を行いました。

審査の結果、第1号陳情は継続審査、第2号陳情は不採択とすべきものと決しました。

◆第1号陳情（継続審査）
岩手県知事に対し化製場悪臭問題の改善措置を求める意見書の提出を求める陳情

審査において、委員からは「意見書に盛り込む内容について、3月末の県最終回答を吟味する必要があるのではないか」「1月15日に要望として5つの項目を出している。その要望の回答を待つて、精査して意見書を出するという形をとったほうが良い」といった意見が出されました。

審査の結果、継続審査とすべきと決しました。

◆第2号陳情（不採択）
インフルエンザワクチン（フルミスト）助成事業における水平伝播の評価データ開示を求める陳情

審査において、委員からは「開示については非常に難しいだろうと思う。助成中止については保護者等が選択して、ワクチンを受けることができる

ということから、この陳情内容については不採択と思う」と花巻市医師会からの意見聴取、岩手県の環境保健研究センターの見解から、陳情内容の整合性をお話いただき、やはり根拠が明確ではないということもあり、医学的にも陳情とは関係性がないことがはっきりと明確になった」といった意見が出されました。

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、全会一致で不採択とすべきものと決しました。

※陳情全文は市ホームページに掲載しています。

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議を可決

花巻市議会は3月18日、佐々木精市議員、佐藤峰樹議員、羽山のみ子議員、小森田郁也議員、若柳良明議員、櫻井肇議員、菅原ゆかり議員が連名でアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議を決議し、これを直ちに審議しました。

採決の結果、全会一致で可決しました。

◆アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議

アメリカとイスラエルは、2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始しました。このことは、国連憲章第2条4項武力行使の禁止及び国際法に違反する暴挙であり、グテーレス国連事務総長をはじめ、世界中から非難の声が起ころうとしています。極めて重大なことは、トランプ米大統領がイラン政権を「巨大なテロ組織」と決めつけ大規模な攻撃を実施する中、イラン国民に対して「自分たちの政府を乗っ取れ」と、体制転覆を公然と呼びかけているところであります。

いかなる事情や理由があるとしても、一方的な武力行使をもって独立した主権国家を攻撃し、その最高指導者を殺害することは、許される行為ではありません。断固抗議します。

現在軍事攻撃が継続される中、アメリカ、イスラエル、イランの双方に死傷者が多数出しており、とりわけ罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっているのが現実です。イランによるホルムズ海峡の封鎖によりエネルギー供給面で世界経済に大きな混乱が生じてきました。これ以上の中東・湾岸諸国における紛争の拡大は絶対に阻止しなければなりません。

よって花巻市議会は、アメリカ政府、イスラエル政府に対し、直ちに攻撃を中止し、外交交渉による平和的解決に立ち戻るよう要求するものです。

以上、決議する。

ことぶき まい
壽 麻衣さん
(花巻南高校3年)花巻市の未来へ
ちょっと一言たかはし のりひと
高橋 典人さん
(東和町小友)

気づきから広がるまちの魅力

以前は花巻市の魅力に気づくことができず、その良さを実感できていませんでした。しかしイベントや地域活性化の活動に参加する中で、郷土芸能や自然の豊かさ、地元の食の魅力など、多くの良さに気づきました。またそれらの魅力は関わる人々の支えによつて守られていることも実感しました。

これらの魅力をSNSなどを用いて積極的に発信していくことが大切だと考えています。まちづくりは行政だけでなく、住民の協力や参加があつてこそ成り立つものだと感じました。誰もが住み続けたいと思えるまちにするために、自分もその一員として主体的に関わっていきたいです。

手作りの大切さを伝えたい

東和町には、東和町ふるさと村おためし工房という農産物加工体験施設があります。私は、その施設のインストラクターをしています。春はふきの佃煮、夏はピーマンの佃煮、秋はリンゴジュースやジャム、冬は味噌づくりと旬の食材を使つて手作ります。

時には親子で、また、おばあさんと孫で笑顔で一緒に作っている姿を見るのも仕事をしているうえでの楽しみでもあります。特に味噌は「手作りの味噌を食べたら市販の味噌は食べられない」という人もいます。手作りの大切さをこれからも伝えていきたいと思っています。

議会の動き

2月～4月

- 2月6日 総務常任委員会
10日 産業建設常任委員会
12日～17日 議会報告会(13会場)
18日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会
19日 議会運営委員会
25日～3月18日 令和8年第1回定例会
25日 議会運営委員会、広報特別委員会
3月5日 議員全員協議会
6日 議会運営委員会
9日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
10日 産業建設常任委員会
11日～13日 予算特別委員会
16日 広聴特別委員会、議会改革推進会議
18日 議会運営委員会、議員全員協議会
4月2日 広報特別委員会
10日 広報特別委員会
16日 広報特別委員会
17日 文教福祉常任委員会
27日 議会改革推進会議

【広報特別委員会】

委員長 羽山るみ子
副委員長 小原 保信
委員 小森田郁也
鹿討 康弘
及川 恒雄
伊藤 忠宏
佐々木精市
櫻井 肇
阿部 一男

議会傍聴にぜひお越しを！！

【3月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 87人

【6月定例会】

6月12日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598(直通)

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻  では後日、録音した一般質問の音声を送っています。

議会 YouTube も

ご覧ください！！

市議会に係る情報や活動、定例会のお知らせなど、市議会の活動内容を伝える動画を配信していきます。

ぜひご視聴ください！！